

医師用

★医師が記入した意見書が必要な感染症

意見書

麻機保育園 園長

園児氏名

病名

「

」

月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と認めます。

平成 年 月 日

医療機関名

医師名

印

保育園は乳幼児が集団で長時間生活する場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで子どもたちが一日快適に過ごせるよう、保育園児が良くかかる下記の感染症につきまして意見書(診断書)の提出をお願いします。

感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が、集団での保育園生活が可能になってからの登園であるようご配慮ください。

○医師が記入した意見書が必要な感染症

病名	感染しやすい期間	登園の目安
麻疹(はしか)	発症一日前から発しん出現の4日後まで	解熱後、3日を経過してから
風しん	発しん出現の前7日から後7日間位	発しんがすべて消えてから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1~2日前から痂皮形成まで	全ての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発言してから5日間を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで。
結核		感染の恐れがなくなってから
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱・充血など症状が出現した数日間	主な症状が消え、2日経ってから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間。	感染力が非常に強いため、結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を使用しない場合、咳出現後、3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで、又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで。
腸管出血性大腸菌感染症(O-157,O26,O111等)		症状が始まり、且つ抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、何れも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1-2週間、便から数週間~数か月排泄される。	医師により感染の恐れがないことを認めるまで。
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないことを認めるまで。